

体験入学の児童が見守る中、筆先に全集中 — 国語科・書写の授業。(2の3 12月17日)

書写の授業が進んでいます。教室に漂う墨の香り、一心に筆の穂先を見つめる生徒、年末恒例の中学校の光景です。

昨日の授業では、体験入学の小学生に見守られながら、「調和」という字を書きました。この授業を経て、冬休みには「書きぞめ」の課題に取り組みます。1年生の課題は「不言実行」、3年生は「無限の可能性」、そして2年生は「新たな目標」です。

3学期はじめに、すべての生徒作品を教室に掲示し、それぞれの書を受けます。

日本には古き良き伝統がたくさんあります。「書きぞめ」もその一つでしょう。

新年に家庭で行う書きぞめには、次のような意味合いがあると聞きました。——正月2日の朝に、若水(わかみづ)をくんで墨をすり、選んでおいた佳句や名言を吉方に向かって端座して揮毫(きごう)する。そして、家族みんなで新年を祝い、思いを新たにす行事——

スマホを手にLINEやYouTube。スピードオーバーぎみの時代に、筆を持ち緩やかな時を持つことも必要なのかもしれません。

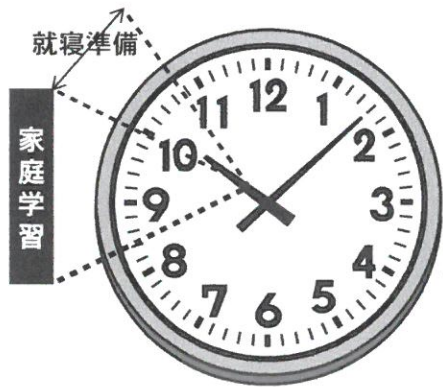
「新たな目標」

冬休みー苦手教科の克服へ

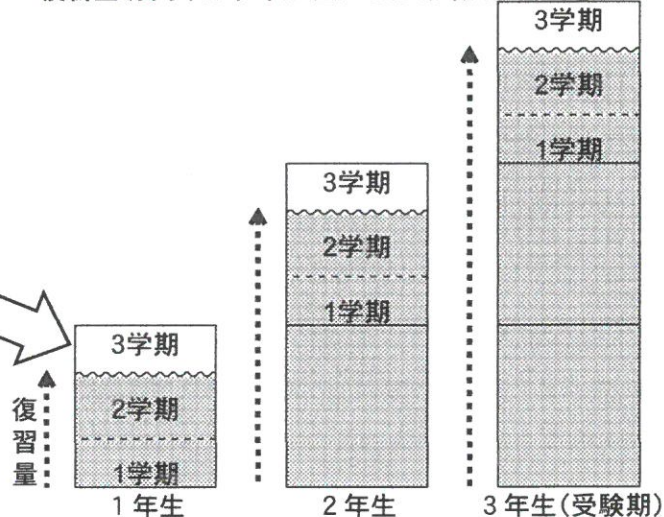
家庭学習を毎日やる習慣を身につけながら、次に目指すのが冬休みと3学期に行う「苦手教科(分野)の総復習」です。

【家庭学習を必ずやる】

(※平日例:1時間半以上)



【復習量(苦手)は学年が上がるほど増えていく】



積み上げる教科と並立的な教科

中学校で学ぶ5教科には大きく3つの特徴があります。①国語：専門的な知識に加え、各教科の基本となる読む力や考える力、書く力などを養う内容 ②数学/英語：これまで学んだことを土台に新しい内容が積み上がっていく教科。公式や文法などを応用。③理科/社会：生物や化学、地理や歴史など学ぶ内容が並立的に並ぶ教科。覚える事項が多い。

②の教科は今の内容が身につけていないと

これからの学習がスムーズに進みません。また、上図に示したように、③は学年が上がるにつれて覚える内容が増えていきます。

自分の弱点に視点を当てる

限られた学習時間を何に使うか。基本ができていない人は、教科書を読み直しこれまでのノートを書き写してみること。中位や上位の人は、定期テスト結果をもとに陥没点を重点的に学習していくことが必要です。その学習時間を平日に加え、冬・春休みに確保します。

来週の予定

月日	曜	時 間 割	主 な 行 事 ・ 予 定
12/20	日		
21	月		
22	火		
23	水	総合・総合	お弁当
24	木	月2:美化;終業;学活	全終業式 給食のない日
25	金		冬休み(～1/6)

①1学年 ②2学年 ③3学年 全学年 丸付き数字は時間割

★ 2学期の最終週を迎えます。これまでの短縮授業から通常の50分授業に戻ります。

★ 春の臨時休校の関係で、冬休みが2日間短くなります。その関係から12/23はお弁当を持参します。

【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338